

第 229 回 昭和の森自然観察会

冬のバードウォッチング ～どんなカモが見つかるかな？～

渋谷雄二（千葉市）

日 時：2011年1月9日（日） 13時～15時 天候：快晴

参加者：39名（大人 32名、子ども 7名） 指導員 26名

担当指導員：木下 順次 田邊 裕美 渋谷 雄二

新春にふさわしく、晴天に恵まれ、穏やかな野鳥観察会となりました。

13時、担当指導員から観察会の内容を説明後3班に分かれて野鳥観察をしながら、今回の観察ポイントである下タ田池（しもんたいけ）に向いました。最初のポイントである展望台からフィールドスコープを使い、小中池のマガモの群れを観察、梅林ではツグミが「だるまさんがころんだ」をやっているようなしぐさをしていました。他のヒヨドリ、ムクドリが飛翔している姿が観られました。下タ田池ではマガモやカルガモの嘴の先に付いている嘴爪（はしづめ）の役目や、カモ類の足とオオバンやカワウの脚（構造や水かきの有無等）の違い、カモ類のしぐさや耳の位置、尾脂腺と羽毛の役目、淡水ガモと潜水ガモの体の構造の違い等について担当指導員が説明を行いました。参加者の皆さんは説明を受けた事について興味深く、楽しそうに観察していました。

下タ田池では他にもカワウ、アオサギ、ホシハジロ、カイツブリ、オカヨシガモ、セグロセキレイ、等も観察することができました。菖蒲田沿いの道路ではシジュウカラ、ヤマガラ、メジロ、エナガ、コゲラ等の混群や、上空をゆっくり旋回するオオタカの雄姿も観られました。菖蒲田付近ではアオジ、シロハラ、シメ、さらに少し先に行くと、胸から腹部にかけて黒と黄色の斑模様がとても綺麗なトラツグミが採餌する姿も観察することができました。

観察会終了後の参加者の皆さんからは、「昭和の森にいろいろな鳥がいることに気づき、驚いた」「オオタカやトラツグミが観られて本当に良かった」「今度、プライベートで昭和の森でバードウォッチングに来たい」等の感想が聞かれました。これから更に寒さが厳しくなる最中、たくましく生きようとする野鳥たちの姿に自然環境の大切さを痛感した一日でした。

（下見を併せて観察できた野鳥）

ハクセキレイ、セグロセキレイ、オオバン、アオサギ、マガモ、カルガモ、ホシハジロ、オカヨシガモ、ツグミ、カイツブリ、コゲラ、エナガ、シジュウカラ、カワウ、ヒヨドリ、モズ、ムクドリ、メジロ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、トラツグミ、カワセミ、アオジ、シメ、オオタカ、タヒバリ、ウグイス、シロハラ、ヤマガラ、カケス、クロジ、オオハクチョウ、アカハラ、ルリビタキ、キジバト、カワラヒワ

